
平成29年度
四万十市地域福祉活動計画
評価検討委員会

日時 平成30年3月16日（金）13：30～

場所 四万十市社会福祉センター2階 研修室II

人と人が
つながる
笑顔あふれる
四万十市



四万十市地域福祉活動計画評価検討委員会名簿

番号	役職	氏名	所属・団体
1	評価検討委員会委員	谷本 哲志	四万十市区長会
2	〃	芝 伸悟	えっころネット
3	〃	西浦 礼子	中村地域民生児童委員
4	〃	新玉 茅美	西土佐地域民生児童委員
5	〃	松岡 時規子	四万十市認知症家族会たんぽぽの会
6	〃	須山 美樹	あったかふれあいセンターいちいの郷
7	〃	岡崎 裕	四万十市身体障害者連盟事務局
8	〃	宮本 ルミ	ほっとポケット
9	〃	今城 良和	四万十市老人クラブ連合会
10	〃	後藤 都	大用地区健康福祉委員会
11	〃	沖屋 充伯	四万十市福祉事務所

アドバイザー

番号	役職	氏名	所属・団体
1	チーフ	矢野川 史子	高知県幡多福祉保健所 地域支援室
2	技師	友永 咲季	〃
3	チーフ	鈴木 香	高知県社会福祉協議会 地域・生活支援課
4	主事	谷口 友哉	〃

事務局

番号	役職	氏名	所属・団体
1	会長	伊勢脇 寿夫	四万十市社会福祉協議会
2	事務局長	山本 博昭	〃
3	課長	安田 巧	〃
4	〃	秋森 由為	〃
5	〃	酒井 和敏	〃
6	主事	小谷 真司	〃
7	〃	渡会 梓	〃

四万十市地域福祉活動計画体系図

基本構想

人と人がつながる
笑顔あふれる四万十市

重点目標① 住民が生き生き生活できる地域づくり

活動目標

支え合いの地域づくり

高齢者の生きがいづくり

住民の健康づくり

実施目標

1. 健康福祉委員会の設立及び支援…………… 1点
2. あったかふれあいセンターの充実…………… 6点
3. 支えあいマップの作成…………… 8点

重点目標② 思いやりのこころを育てる地域づくり

活動目標

福祉教育(共育)の推進

子育て協働の仕組みづくり

実施目標

1. 各種体験学習の質の向上…………… 10点
2. 子育て協働の場づくり…………… 12点
3. 世代間交流の場づくり…………… 14点

重点目標③ 安心して生活できる地域の土壌づくり

活動目標

相談支援体制の整備

介護予防・生活支援事業との連携

実施目標

1. 生活困窮者等への支援…………… 16点
2. 当事者団体・家族会等の支援…………… 20点
3. 介護予防・生活支援事業との連携…………… 22点
4. ボランティアセンターの充実…………… 24点

重点目標① 住民が生き生き生活できる地域づくり

地域の中で住民が健康で暮らせる、高齢者が生きがいがある、支えあいのできる地域に向けて、各地区の健康福祉委員会の設立や側面的な支援にとり組み、いきいきと生活できる地域づくりを目指します。

実施目標		1 健康福祉委員会の設立及び支援(第1期計画から継続)	
☆数値目標		平成31年度までに75%から85%設置(母数の変更による修正:58.5%から68.5%)	
年度	計 画	実 施 状 況	評価平均 基準 1:要努力 2:普通 3:良好
28	未設置地区への関与・健康福祉委員会の活動支援(目標値:61.0%)	4地区(国見・新町・具同中組・田黒2)設立 (平成29年3月末時点:103地区61.3%)	未実施
29	上記に加え、中村地区健康福祉委員会(グループ)の移行支援(目標値:63.5%)	5地区1グループ(緑ヶ丘団地・不破上町・田出ノ川・本町4.5・大橋通5・祇園)設立 (平成30年2月末時点:108地区64.2%)	
30	↓ (目標値:66.0%)	-	-
31	↓ (目標値:68.5%)	-	-
取組み状況	保健介護課との協働により、健康福祉委員会未設置地区への働きかけや事業説明会を開催するなどして新規健康福祉委員会の立ち上げに向けた活動を行い、新たに5地区1グループの健康福祉委員会が設立された。平成30年4からはこれまで社協の傘下で活動していた10グループの多くが地区の活動として移行する方向となっている他、大橋通7等、平成31年度から新たに設立する予定の地区もある。		
課 題	健康福祉委員会意見交換会などで多くの地区に共通する課題としてあげられたのが担い手確保(後継者)の問題である。こうした状況もあり、健康福祉委員会の活動支援として健康体操やレクリエーションの導入、学習会等を行い、活動の質を高めていくべく意図的に関与した。引き続き、当該事業の持続可能性を高めていけるよう、一定サポートしていくとともに、人材養成・人材発掘の視点を強く意識していく必要がある。		

- 備 考 -

▼健康福祉委員会意見交換会(東中筋)



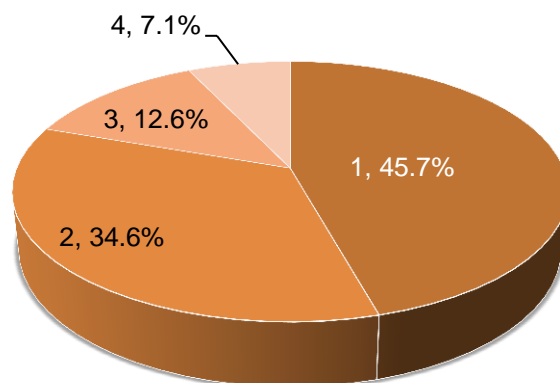
▼学習会(京町友愛クラブ)



平成29年度実績

《健康福祉委員会に関連する実績の分類》

番号	類 型	件数
1	介護予防事業への協力(レク・学習会等)	58 件
2	未設置地区への関与(事業説明等)	44 件
3	意見交換会等の開催・参加	16 件
4	活動の広報支援等	9 件
計		127 件



実施状況の詳細は以下の表のとおり

番号	月	日	地 区 名	内 容	備 考
1	4	5	久保川	えっころネット地域滞在事業説明	区長宅
2	4	14	九樹	認知症学習会・脳トレ	10名
3	4	16	三ツ又	地区総会・わなげ指導他	14名
4	4	19	実崎	地域づくり学習会・わなげ指導	14名
5	4	21	右山コスモス会	まちなかサロン事業説明他	16名
6	4	24	赤鉄橋にこにこクラブ	わなげ指導他	15名
7	4	26	ハイランドみどり会	わなげ指導他	10名
8	5	7	久保川	えっころネット地域滞在事業同行	5名
9	5	7	平野	地域づくり学習会他	21名
10	5	12	羽生小路ふれあい談話室	地域づくり学習会・体操他	7名
11	5	16	天神橋金の輪	わなげ指導他	15名
12	5	19	丸の内さくら会	わなげ指導他	16名
13	5	28	久保川	えっころネット地域滞在事業同行	6名
14	5	31	山手通・大橋通2	事業説明会	H29.6～事業開始
15	6	7	れんげ草の会	熱中症学習会他	11名
16	6	8	中村地区	区長説明会	17名
17	6	9	京町友愛クラブ	認知症学習会・わなげ指導他	9名
18	6	12	東町シルバーフレンド	脳トレ他	11名
19	6	15	用井	ボールボードゲーム	11名
20	7	2	伊才原	七夕まつり取材	50名
21	7	5	大橋通5	事業説明会	H29.8～事業開始
22	7	10	藤ノ川	健康体操・手あそび	19名
23	7	11	磯ノ川	地域づくり学習会・わなげ指導他	14名
24	7	12	西富山・蕨岡(7地区)	健康福祉委員会意見交換会	10名・関係者6名
25	7	19	東富山(6地区)	健康福祉委員会意見交換会	11名・関係者9名

番号	月	日	地区名	内容	備考
26	7	21	奥屋内上	脳トレ・じゃんけんペタンコ	16名
27	7	27	藪ヶ市	認知症学習会	12名
28	7	31	八束(8地区)	健康福祉委員会意見交換会	14名・関係者6名
29	8	8	後川(8地区)	健康福祉委員会意見交換会	15名・関係者5名
30	8	19	奥鴨川	事業説明	区長宅
31	8	19	利岡	事業説明	区長宅
32	8	23	西ヶ方	3B体操・歌謡体操他	8名
33	8	24	自由ヶ丘	事業説明	区長宅
34	8	25	奈路	介護予防体操他	5名
35	8	25	東山(8地区)	健康福祉委員会意見交換会	15名・関係者5名
36	8	28	中村(9グループ)	来年度事業に関する意見交換会	9名・関係者6名
37	8	29	大用	学童の交流会取材	30名
38	8	29	大宮上	脳トレ・健康体操・わなげ	12名
39	8	31	下田(7地区)	健康福祉委員会意見交換会	15名・関係者5名
40	9	5	れんげ草の会	来年度事業に関する意見交換	代表者宅
41	9	5	京町友愛クラブ	来年度事業に関する意見交換	代表者宅
42	9	5	ひまわりグループ	体操・わなげ指導	12名
43	9	6	下田	支えあい事業説明	代表者来所
44	9	6	手洗川	手あそび・歌謡体操	18名
45	9	11	東町シルバーフレンド	来年度事業に関する意見交換	12名
46	9	11	奥屋内上	脳トレ・ボールボードゲーム	19名
47	9	13	深木	わなげ指導他	10名
48	9	13	横瀬	脳トレ他	25名
49	9	14	東町	事業説明	区長宅
50	9	15	東中筋(5地区)	健康福祉委員会意見交換会	14名・関係者7名
51	9	20	百笑	事業説明	区長宅
52	9	20	横瀬	わなげ指導他	23名
53	9	20	祇園健康福祉委員会	活動取材	9名
54	9	20	大橋通7	事業説明	区長来所
55	9	21	上ノ土居	わなげ指導他	12名
56	9	21	中筋(4地区)	健康福祉委員会意見交換会	8名・関係者5名
57	9	27	京町友愛クラブ	認知症学習会・脳トレ他	8名
58	9	27	手洗川	認知症学習会・脳トレ他	15名
59	9	28	羽生小路	来年度事業に関する意見交換	代表者宅

番号	月	日	地区名	内容	備考
60	9	29	具同(6地区)	健康福祉委員会意見交換会	10名・関係者7名
61	9	30	秋田	脳トレ他	12名
62	10	2	水戸	わなげ指導他	9名
63	10	2	口屋内	ゴム体操・健康体操・脳トレ	13名
64	10	5	平野	わなげ指導他	6名
65	10	5	大川筋(5地区)	健康福祉委員会意見交換会	10名・関係者5名
66	10	5	京町下区	事業説明	区長宅
67	10	10	佐田	わなげ指導他	24名
68	10	11	中村(6地区・5グループ)	健康福祉委員会意見交換会	17名・関係者6名
69	10	19	磯ノ川	認知症学習会・わなげ指導他	14名
70	10	19	用井	脳トレ、ボールボードゲーム	12名
71	10	20	大宮(上・中・下)	ガイドブック説明会	25名
72	10	21	市内の健康福祉委員会	わなげ交流大会	320名
73	10	27	西土佐	健康福祉委員会意見交換会	24名
74	11	1	自由ヶ丘東	事業説明	区長宅
75	11	3	水戸	活動取材	30名
76	11	6	田出ノ川	事業説明	H30.1～事業開始
77	11	6	蕨岡上分	地域づくり学習会・脳トレ他	15名
78	11	7	天神橋金の輪	脳トレ他	12名
79	11	8	田出ノ川	事業説明	代表予定者宅
80	11	10	田出ノ川	事業説明	区長来所
81	11	16	カツラ山	地域づくり学習会・脳トレ他	15名
82	11	17	田出ノ川	事業説明	代表予定者宅
83	11	19	伊才原	活動取材	30名
84	11	20	奥屋内下	脳トレ・ホール体操・歌謡体操	9名
85	11	21	三里	認知症学習会・脳トレ他	8名
86	11	21	平野・緑ヶ丘団地	わなげ交流会取材	16名
87	11	22	東町1	事業説明	区長宅
88	11	22	大橋通7	事業説明	区長宅
89	11	22	自由ヶ丘	事業説明	元区長宅
90	11	24	大橋通5	事業説明	区長来所
91	11	28	大宮中	脳トレ・手あそび	15名
92	11	30	京町友愛クラブ	体操・指運動他	7名
93	11	30	新町区	体操・指運動・音楽レク他	12名

番号	月	日	地区名	内容	備考
94	12	1	丸の内さくら会	助け合い体験ゲーム他	12名
95	12	1	丸の内(2グループ)	来年度事業に関する意見交換	代表者2名・区長
96	12	4	赤鉄橋にこにこクラブ	ラジオ体操・わなげ他	12名
97	12	5	常六	脳トレ他	7名
98	12	6	れんげ草の会	健康パスポートの説明	10名
99	12	7	大用	体操・助け合い体験ゲーム他	23名
100	12	8	利岡	事業説明	区長宅
101	12	11	東町シルバーフレンド	来年度事業に関する意見交換	10名
102	12	18	田出ノ川	提出書類の確認	代表予定者宅
103	12	20	京町友愛クラブ	ラジオ体操・ボールゲーム他	7名
104	12	20	具同中組	クリスマス交流会	15名
105	12	21	天神橋金の輪	来年度の活動の意見交換	15名
106	12	24	ひまわりグループ	レクリエーション	12名
107	1	7	東町3	総会・事業説明	13名
108	1	11	奈路	認知症学習会・認知症カルタ	11名
109	1	15	大橋通7	総会・事業説明	17名
110	1	17	口屋内	水曜ランチ取材・ゴム体操	15名
111	1	17	れんげ草の会	来年度以降の活動について	代表者宅
112	1	23	利岡	事業説明	代表者宅
113	1	24	口鴨川	いの町から視察研修	25名・関係者9名
114	1	24	ひまわりグループ	来年度以降の活動について	代表者宅
115	1	25	藪ヶ市	わなげ	12名
116	1	25	天神橋金の輪	来年度以降の活動について	代表者宅・区長宅
117	1	25	上小性町	来年度以降の活動について	区長宅
118	1	31	大橋通5	認知症学習会・認知症よりそいカルタ	15名
119	2	6	利岡	準備会 ゴム体操・レク	10名
120	2	7	横瀬	体操・脳トレ	15名
121	2	7	大宮中	じゃんけんペタンコ・医療費学習	14名
122	2	8	天神橋	来年度以降の活動について	区長宅
123	2	9	羽生小路ふれあい談話室	来年度以降の活動について	8名
124	2	9	右山コスモス会	来年度以降の活動について	区長・代表者来所
125	2	14~16	古津賀第2団地	活動取材(健康体操・卓球・グラウンドゴルフ)	延べ37名
126	2	20	緑ヶ丘	レクリエーション	10名
127	2	26	京町中	来年度以降の活動について	12名

実施目標		2 あったかふれあいセンターの充実(第1期計画から継続)	
年度	計 画	実 施 状 況	評価平均 基準 1:要努力 2:普通 3:良好
28	各センターの事業活動への協力 個別支援・地域支援での連携強化	運営推進会議等の参画 10回 各事業への関与 6回 連携事例 5名	未実施
29	↓	運営推進会議等の参画 11回 各事業への関与 15回 連携事例 10名 ※2月末時点	
30	↓	-	-
31	↓	-	-
取組み状況	市内3カ所のあったかふれあいセンターの運営推進会議へ参画し、個別課題や地域課題の共有を通じた活動の在り方(方向性)の共有に努めた。個別支援や地域支援の場面でも協働することが多く、引き続き、連携強化を図る。また、あったかふれあいセンターの活動が今以上に地域に行き届くよう様々な媒体を使った情報発信にも取り組んでいく。		
課 題	あったかふれあいセンターの活動が地域社会に浸透し、魅力である柔軟性がゆえの負担が各センターに集中している印象を受けている。広範な四万十市をカバーしていくための効果的で効率的なニーズ集約と支援体制の整備を関係機関と一緒に取り組んでいく必要がある。		

- 備 考 -

▼いちいの郷江川崎サテライトの紹介

地域の支えあい活動や介護予防活動をご紹介します
見つけた!

地域のいきいき活動

Vol.10
2017年5月発行

「道の駅 よって西土佐」を活用した
介護予防活動の拠点・地域交流の場

今回の地域のいきいき活動は、「あったかふれあいセンターNPOいちいの郷江川崎サテライト」の活動を紹介します。
「あったかふれあいセンターNPOいちいの郷」では、西土佐市在住の方を対象に、地域の高齢者を中心として、高齢者が安心して暮らすための活動を行っています。
サテライトの一つである江川崎サテライトは、「道の駅 よって西土佐」を拠点として活動しており、4月から火木の曜日に、時間10:00～12:30から15:30まで、に拡大された新しいスタートしました。
取材にお伺いした際は、14の方が参加された空間の中で、木の香りと心地よい風が吹くながら、ゴム体操や口腔体操を行っているところでした。体操は思った以上にハードで、休みながら行っている方もいましたが、明るく元気な声で話していました。
に動まされながら、楽しそうに体操を動かして行っていました。
江川崎サテライトでは、駅からの半日コースと朝から1日コースがあり、昼食は、道の駅のお弁当や食卓を利用されています。また、買い物も楽しみながら行うことができます。また、お土産も購入することができます。
江川崎サテライトでは、駅からの半日コースと朝から1日コースがあり、昼食は、道の駅のお弁当や食卓を利用されています。また、買い物も楽しみながら行うことができます。また、お土産も購入することができます。
地域の高齢者が暮らす交流の場でもありました。

いちいの郷のスタッフの皆さん

発行：四万十市生活支援サービス体制整備推進会議（事務局）四万十市保健介護課介護係 ☎34-1165

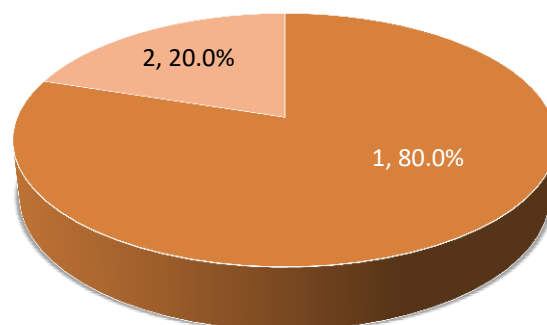
▼あったかふれあいセンター運営協議会



平成29年度実績

《あったかふれあいセンターとの連携事例の内訳》

番号	類 型	人数
1	あったかふれあいセンターに繋いだケース	8名
2	あったかふれあいセンターから寄せられたケース	2名
計		10名



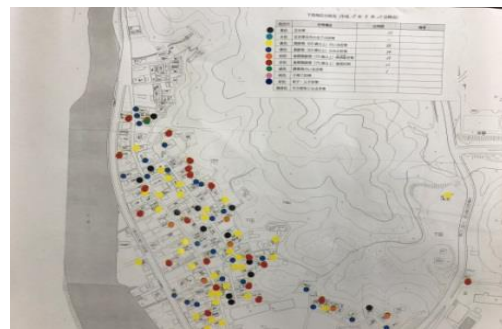
実施状況の詳細は以下の表のとおり

番号	月	日	センター名	内 容	備 考
1	4	18	いちいの郷	江川崎サテライトの取材	
2	4	25	いちいの郷	西土佐地域課題検討会議	
3	5	16	アルメリア	フードバンク提供	
4	5	30	3センター	第1回あったかふれあいセンター連絡協議会	
5	6	13	いちいの郷	西土佐地域課題検討会議	
6	6	15	愛ハピネス	運営推進会議	
7	6	20	愛ハピネス	オレンジカフェ学習会	
8	7	11	いちいの郷	西土佐地域事例検討会	
9	7	24	アルメリア・愛ハピネス	中村地域あったかふれあいセンター意見交換会	
10	8	8	いちいの郷	西土佐地域課題検討会議	
11	9	12	いちいの郷	西土佐地域課題検討会議	
12	9	26	アルメリア	事例検討会	
13	9	29	いちいの郷	運営推進会議	
14	10	10	いちいの郷	西土佐地域課題検討会議	
15	10	19	愛ハピネス	運営推進会議	
16	10	24	愛ハピネス	オレンジカフェ学習会	
17	10	31	アルメリア	運営推進会議	
18	11	14	いちいの郷	西土佐地域課題検討会議	
19	12	8	アルメリア・愛ハピネス	中村地域あったかふれあいセンター意見交換会	
20	12	12	いちいの郷	西土佐地域課題検討会議	
21	12	26	アルメリア	フードバンク提供	
22	1	23	愛ハピネス	オレンジカフェ助け合い体験ゲーム	
23	1	30	アルメリア・愛ハピネス	中村地域あったかふれあいセンター意見交換会	
24	2	13	いちいの郷	西土佐地域課題検討会議	
25	2	15	愛ハピネス	運営推進会議	
26	2	28	アルメリア	運営推進会議	

実施目標		3 支えあいマップの作成(第1期計画から継続)	
☆数値目標		毎年5地区以上で支えあいマップを作成する	
年度	計 画	実 施 状 況	評価平均 基準 1:要努力 2:普通 3:良好
28	マップづくりによる地域の見える化を通じた支えあい活動の基盤づくり	6地区に持ち掛け、 新規作成 3地区(佐岡・常六・秋田)	未実施
29	↓	5地区に持ち掛け、 新規作成 2地区(下田・口鴨川) 更新 1地区(大用) ※2月末時点	
30	上記に加え、PR強化	-	-
31	↓	-	-
取組み状況		年間5地区で支えあいマップを作成するといった目標を達成することができなかった。口鴨川地区は助け合いの活動が活発な地区であり、マップづくりを通して見守り等の必要な世帯の量・質・位置情報をもとに更なる活動の充実を図る方向となっている。医療生協が推進している「つながりマップづくり」に関わりをもち、市街地エリアの地域資源情報の見える化を行った。	
課 題		新規で支えあいマップを作成することも重要であるが、地区の状況は日々変化していく為、作成した支えあいマップを活用可能なものとしていくためにも定期的な見直し場面に関与していく必要がある。また、2年間数値目標を達成することができておらず、これまで以上にPRの強化に取り組んでいく必要がある。	

- 備 考 -

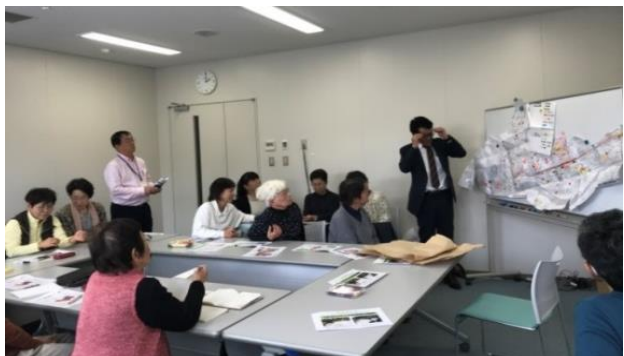
▼大用地区マップの更新



▼下田地区マップづくり



▼医療生協つながりマップづくり



平成29年度実績

番号	月	日	地区名	内容	備考
1	9	27	下田	支えあいマップ新規作成	2名
2	11	27	市街地	医療生協つながりマップ	生協14名・関係者7名
3	12	7	大用	支えあいマップの更新	8名
4	12	27	口鴨川	支えあいマップ新規作成	2名

重点目標② 思いやりのこころを育てる地域づくり

福祉教育(共育)等を通じて、子どもの頃から福祉に興味を持ってもらいながら、大人も共に学び、思いやりのこころが育てられるような場づくりも含めた地域づくりを目指します。

実施目標		1 各種体験学習の質の向上(第1期計画から継続)	
☆数値目標		毎年5校以上の学校で実施	
年度	計 画	実 施 状 況	評価平均 基準 1:要努力 2:普通 3:良好
28	各種体験学習による福祉教育の推進	小学校 延9校 中学校 延6校	未実施
29	↓	小学校 延6校 中学校 延2校 ※2月末時点	
30	上記に加え、年代に応じたメニューの作成 事後学習の場(交流の機会)づくり	-	-
31	↓	-	-
取組み状況		福祉のまちづくりを進めていくうえで、早い段階から福祉について考え、豊かな人間性を培っていくことは重要であり、学校からの依頼に基づき8校で各種体験学習を実施し、数値目標は達成することができた。体験学習を踏まえ事後学習のマッチングにも力を入れていきたいと考えており、学校側に情報提供するものの、平成29年度は中村小学校の1校のみの実施となっている。	
課 題		体験学習を通して生徒が感じたことや想いを踏まえ、実際に高齢者等と触れ合うことが何より充実した学びになると考えており、これからも「②-3世代間交流の場づくり」と関連を持たせ、学校側と地域社会と連携しながら事後学習の機会のマッチングに取り組んでいく必要がある。今後、年代に応じたメニューの作成を進めていく。	

- 備 考 -

▼車いす体験学習(中村小5年生)



▼高齢者疑似体験学習(八束中1年生)



平成29年度実績

番号	月	日	学校名	内 容	備 考
1	6	6	県立中村中学校(2年生1組)	高齢者疑似体験	35名
2	6	13	県立中村中学校(2年生2組)	高齢者疑似体験	33名
3	6	22	中村小学校(5年生)	高齢者疑似・車いす体験	39名
4	9	28	東中筋小学校(3年生)	高齢者疑似・アイマスク体験	15名
5	12	8	八束小学校(5年生)	高齢者疑似・車いす・アイマスク体験	8名
6	12	19	中村南小学校(3年生)	車いす・アイマスク体験	35名
7	1	29	利岡小学校(3・4年生)	高齢者疑似体験	9名
8	2	2	八束中学校(1年生)	高齢者疑似体験	6名
9	2	20	東山小学校(3年生)	アイマスク体験	50名
10	2	21	東山小学校(4年生)	高齢者疑似・アイマスク体験	54名

実施目標		2 子育て協働の場づくり(第2期計画から追加)	
☆数値目標		平成31年度までに1カ所以上の場づくり	
年度	計 画	実 施 状 況	評価平均 基準 1:要努力 2:普通 3:良好
28	子育て協働の場づくりに向けたニーズ調査・検討	古津賀2丁目健康福祉委員会(聞き取り) ママ&チルドレン(聞き取り)	未実施
29	↓	主任児童委員 (聞き取り) 乳幼児の母親 (聞き取り・検討) ※2月末時点	
30	アンケート調査実施・事業計画の作成	-	-
31	子育て協働の場の設置	-	-
取組み状況	主任児童委員や乳幼児の母親から課題や要望等の聞き取りを行った。乳幼児の母親からは下記のような多くのニーズが聞かれた。こうした意見をもとに対象年齢や場所の確保などの具体的な検討を行えなかった結果、乳幼児の母親たちが中心となり「CuddleFamilyカドルファミリー」という団体を組織し、アピアさつきの空きテナントを活用し試行的に活動を始める予定となっている。		
課 題	社協の取組みとして事業化を図るにはまだまだ準備不足な面が多く、十分なニーズの把握も行えていないため、更なるニーズ調査等を踏まえ、必要性を判断したうえで具現化を進めていく必要がある。今後もカドルファミリーとの関係性は維持しつつ社協としてサポートできる面には関与していければと考えている。		

- 備 考 -

▼ニーズの聞き取り結果 (乳幼児の母親)

【居場所づくり】

- ・おさがりシステム (おもちゃなどを譲り合う)
- ・無料で遊べる室内施設
- ・市外の母親が帰省中に気軽に相談できる場所
- ・座敷のある店を営業時間外に活用する
- ・自主運営の育児サークル
- ・高齢者と交流し昔遊びを教えてもらう
- ・生活習慣を学べる場所
- ・休日の体育館の開放
- ・地区ごとに気軽に立ち寄れる場所

【イベント関係】

- ・親子クッキング
- ・季節のイベントに合わせた写真撮影会
- ・家では出来ない遊びの体験 (泥遊び、絵の具)
- ・発表会 (演奏、ダンスを福祉施設等で披露)
- ・父親が主催するイベント (釣り、BBQなど)

平成29年度実績

番号	月	日	団体等	内容	備考
1	5	11	主任児童委員（定例会）	聞き取り	社会福祉センター
2	10	19	乳幼児の母親	事業の概要について説明	まちなかサロン
3	10	26	乳幼児の母親	ニーズの聞き取り	まちなかサロン
4	11	8	乳幼児の母親	事業内容の検討	社会福祉センター
5	2	16	カドルファミリー	団体の事業内容等について聞き取り	社会福祉センター

実施目標		3 世代間交流の場づくり(第2期計画から追加)	
☆数値目標		毎年5地区の健康福祉委員会で実施	
年度	計 画	実 施 状 況	評価平均 基準 1:要努力 2:普通 3:良好
28	世代間交流の機会の情報集約・マッチング・広報支援	高齢者疑似体験を実施した5校に持ち掛け3カ所(岩田・赤松団地・深木)	未実施
29	↓	高齢者疑似体験を実施した6校に持ち掛け8カ所(用井・大用・赤松団地・カツラ山・新町・天神橋金の輪他) ※2月末時点	
30	↓	-	-
31	交流の機会の定着	-	-
取組み状況		平成28年度から、既存の世代間交流の場の情報収集及び活動の取材を行ってきた。平成29年度は、こうした活動を参考に高齢者疑似体験学習の事後学習の機会として、中村地区健康福祉委員会(2グループ)と一条の里・まちなかサロンの高齢者との交流会のマッチングを行った。地元の多様な世代との交流は、子ども達の健全な育成に繋がり、高齢者の方々も元気な子どもたちからパワーをもらっているようであった。	
課 題		学校の授業の中で交流の機会を確保する際には、学校側の協力の必要性も生じるため、「②-1各種体験学習の質の向上」とも関連を持たせて推進していく必要がある。まずは、②-1の今後の取組みの中で学校側に提示できる事後学習も含めたメニューを整理し、環境を整えていきたい。	

- 備 考 -

▼用井×西土佐分校ラポール



▼赤松団地のクリスマス交流会



▼天神橋金の輪×中村小5年生



▼新町×中村小5年生



平成29年度実績

番号	月	日	地区名	内容	備考
1	8	24	用井	西土佐分校「ラポール」との交流	16名
2	8	28	大用	夏休みの学童との交流	30名
3	12	23	カツラ山	クリスマス交流会	35名
4	12	24	赤松団地	クリスマス交流会	32名
5	1	30	新町	中村小学校5年生との交流	高齢者11名・児童6名
6	1	30	天神橋金の輪	中村小学校5年生との交流	高齢者13名・児童13名
7	1	30	一条の里	中村小学校5年生との交流	高齢者17名・児童9名
8	1	30	まちなかサロン	中村小学校5年生との交流	高齢者10名・児童8名
9	2	27	口鴨川	利岡小学校3・4年生との交流	高齢者15名・児童9名

重点目標③ 安心して生活できる地域の土壌づくり

生活で色々な困難を抱えた方が、気軽に相談できるような仕組みづくりや介護予防・生活支援事業との連携や整備等を行い安心して生活できる地域の土壌づくりを目指します。

実施目標		1 生活困窮者への支援(第2期計画から追加)	
年度	計 画	実 施 状 況	評価平均 基準 1:要努力 2:普通 3:良好
28	関係機関との連携による早期対応と自立支援	一般相談(生活困窮関係) 51件 フードバンクの提供 延べ87名 関係機関との連携 12回	未実施
29	↓	一般相談(生活困窮関係) 32件 フードバンクの提供 延べ41世帯(87名) 関係機関との連携 15回 ※2月末時点	
30	↓	-	-
31	↓	-	-
取組み状況		フードバンク事業では、関係機関等から寄せられる生活に困窮し日々食の確保に困る人たちを対象に、食料品を無償で提供しており、41世帯に提供した。また、地域から寄せられる生活困窮者等の一般相談も増加している。平成28年度より開始した「高齢者閉じこもり等予防支援事業」では地域に出向き潜在化しがちな生活困窮者のニーズに早期に対応できる体制を取っている。	
課 題		フードバンク事業では、食料支援によって「食べる」ことが保障されることで、生活困窮者の方々の就労支援につながる可能性も生まれる一方、依存を高めてしまうリスクも伴う。また、食料支援自体が自立につながるわけではないため、関係機関と協働した多面的な支援やフォロー体制が求められる。フードドライブキャンペーンで余剰食材を福祉に活用する考えを地域に浸透させていきたい。	

- 備 考 -

▼フードドライブキャンペーンで集まった食品(414kg相当)



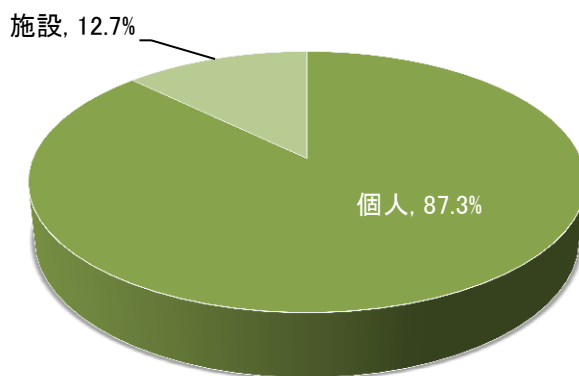
▼閉じこもり報告会(事例検討)



平成29年度実績

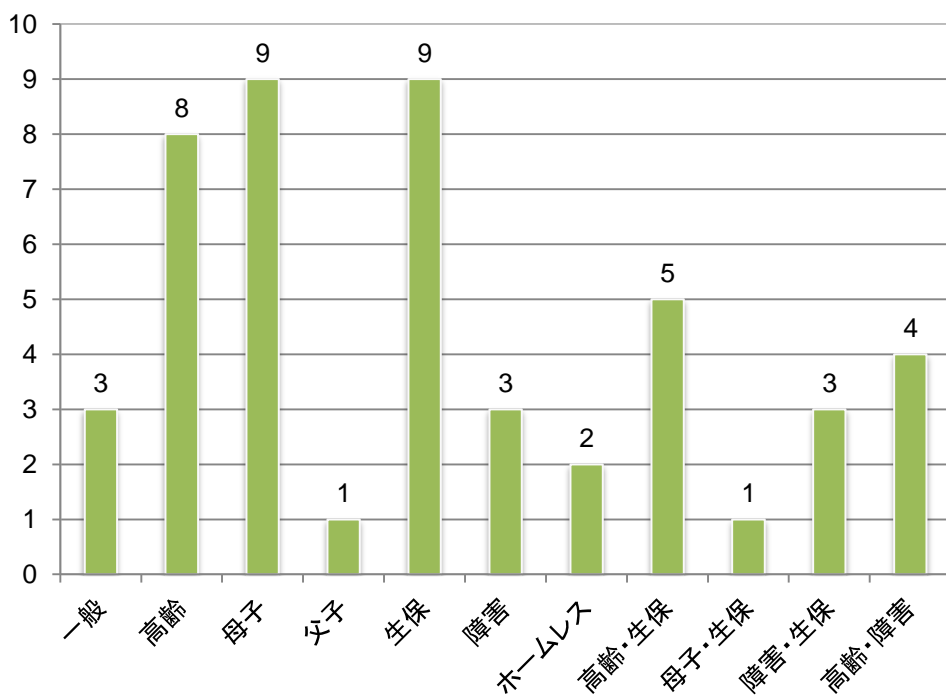
《フードバンク提供(形態別)》

番号	形態	件数
1	個人	48件
2	施設	7件
計(延べ)		55件



《フードバンク提供(世帯別)》

番号	世帯	件数
1	一般	3件
2	高齢	8件
3	母子	9件
4	父子	1件
5	生保	9件
6	障害	3件
7	ホームレス	2件
8	高齢・生保	5件
9	母子・生保	1件
10	障害・生保	3件
11	高齢・障害	4件
計(延べ)		48件



実施状況の詳細は下記の表のとおり

番号	月	日	名称	内容	備考
1	4	7	フードバンク提供	母子世帯	個人(5人世帯)
2	4	21	閉じこもり報告会	専門職間の情報共有	関係者9名
3	5	16	閉じこもり報告会	専門職間の情報共有	関係者7名
4	5	16	フードバンク提供	生保世帯	個人(1人世帯)
5	5	16	フードバンク提供	アルメリア	施設 ※再掲
5	5	26	フードバンク提供	生保世帯	個人(2人世帯)
6	5	26	フードバンク提供	共同作業所	施設
7	5	29	フードバンク提供	共同作業所	施設
8	6	1	フードバンク提供	生保世帯	個人(1人世帯)
9	6	6	フードバンク提供	母子世帯	個人(4人世帯)
10	6	8	フードバンク提供	父子世帯	個人(2人世帯)

番号	月	日	名称	内容	備考
11	6	9	フードバンク提供	児童養護施設	施設
12	6	12	フードバンク提供	共同作業所	施設
13	6	20	フードバンク提供	母子世帯	個人(4人世帯)
14	6	20	閉じこもり報告会	専門職間の情報共有	関係者7名
15	6	21	フードバンク提供	生保世帯	個人(1人世帯)
16	7	25	閉じこもり報告会	専門職間の情報共有	関係者8名
17	7	31	フードバンク提供	児童養護施設	施設
18	8	14	フードバンク提供	生保世帯	個人(1人世帯)
19	8	15	閉じこもり報告会	専門職間の情報共有	関係者9名
20	8	22	フードバンク提供	母子世帯	個人(4人世帯)
21	8	29	フードバンク提供	母子・生保世帯	個人(2人世帯)
22	9	5	フードバンク提供	生保世帯	個人(1人世帯)
23	9	7	フードバンク提供	高齢・生保世帯	個人(1人世帯)
24	9	22	フードバンク提供	母子世帯	個人(4人世帯)
25	9	26	閉じこもり報告会	専門職間の情報共有	関係者8名
26	9	28	フードバンク提供	障害・生保世帯	個人(1人世帯)
27	10	16	フードバンク提供	生保世帯	個人(1人世帯)
28	10	19	閉じこもり報告会	専門職間の情報共有	関係者8名
29	10	23	フードバンク提供	母子世帯	個人(4人世帯)
30	10	31	フードバンク提供	障害・生保世帯	個人(1人世帯)
31	11	1	フードバンク提供	母子世帯	個人(4人世帯)
32	11	10	フードバンク提供	高齢世帯	個人(1人世帯)
33	11	13	フードバンク提供	母子世帯	個人(5人世帯)
34	11	14	フードバンク提供	障害・生保世帯	個人(1人世帯)
35	11	27	フードバンク提供	高齢・生保世帯	個人(1人世帯)
36	11	28	フードバンク提供	母子世帯	個人(4人世帯)
37	11	28	閉じこもり報告会	専門職間の情報共有	関係者7名
38	12	4	フードバンク提供	高齢世帯	個人(3人世帯)
39	12	8	フードバンク提供	高齢世帯	個人(1人世帯)
40	12	15	フードバンク提供	障害世帯	個人(1人世帯)
41	12	25	フードバンク提供	生保世帯	個人(1人世帯)
42	12	26	閉じこもり報告会	専門職間の情報共有	関係者8名
42	12	26	フードバンク提供	アルメリア	施設 ※再掲
43	12	26	フードバンク提供	高齢・障害世帯	個人(1人世帯)

番号	月	日	名 称	内 容	備 考
44	12	26	フードバンク提供	ホームレス	個人(1人世帯)
45	12	27	フードバンク提供	障害世帯	個人(1人世帯)
46	1	4	フードバンク提供	一般世帯	個人(1人世帯)
47	1	4	フードバンク提供	高齢・障害世帯	個人(1人世帯)
48	1	5	フードバンク提供	高齢・生保世帯	個人(1人世帯)
49	1	5	フードバンク提供	ホームレス	個人(1人世帯)
50	1	12	フードバンク提供	高齢・障害世帯	個人(1人世帯)
51	1	15	フードバンク提供	障害世帯	個人(3人世帯)
52	1	15	フードバンク提供	生保世帯	個人(3人世帯)
53	1	16	閉じこもり報告会	専門職間の情報共有	関係者9名
54	1	17	フードバンク提供	一般世帯	個人(2人世帯)
55	1	19	フードバンク提供	高齢・生保世帯	個人(1人世帯)
56	1	24	フードバンク提供	高齢・障害世帯	個人(1人世帯)
57	2	2	フードバンク提供	高齢・生保世帯	個人(1人世帯)
58	2	6	フードバンク提供	高齢世帯	個人(1人世帯)
59	2	8	フードバンク提供	高齢世帯	個人(1人世帯)
60	2	8	フードバンク提供	一般世帯	個人(1人世帯)
61	2	13	フードバンク提供	高齢世帯	個人(1人世帯)
62	2	13	閉じこもり報告会	専門職間の情報共有	関係者11名
63	2	19	フードバンク提供	高齢世帯	個人(1人世帯)
64	2	26	フードバンク提供	高齢世帯	個人(1人世帯)

実施目標		2 当事者団体・家族会等の支援(第1期計画から継続)	
年度	計 画	実 施 状 況	評価平均 基準 1:要努力 2:普通 3:良好
28	団体活動への参加・関係性の構築と支援	認知症家族の会「たんぽぽの会」 3回 精神障害者家族の会「虹の会」他 13回	未実施
29	↓	認知症家族の会「たんぽぽの会」 4回 精神障害者家族の会「虹の会」他 12回 ※2月末時点	
30	上記に加え、当事者への働きかけ(広報)	-	-
31	↓	-	-
取組み状況		「虹の会」「たんぽぽの会」の活動を通して、家族会関係者や参加者との関係性の構築に努めた。「虹の会」では、ファミリーカフェを通じた活動のPRを行うことができ、新規の参加者が増えたことが大きな成果と言える。「たんぽぽの会」では、精神的・身体的負担の軽減になるよう関係者の方々のこれまでの経験に基づく助言や情報提供が行われており、地域の貴重な社会資源としてPR活動や勧誘を行っていく。	
課 題		今後、ますます認知症高齢者は増加する見込みとなっている一方で、まだまだ認知症の理解は不十分であり、侮辱的なイメージを持たれている地域住民も多く、認知症の問題は地域に潜在化する傾向がある。これからは、発見したニーズに対して家族会の関係者と共に、訪問するなどのアプローチも検討していきたい。	

- 備 考 -

▼たんぽぽの会「研修会」



▼たんぽぽの会「交流会」



平成29年度実績

番号	月	日	団体名	内容	備考
1	4	20	精神障害者家族会 虹の会	定例会	
2	4	26	精神障害者家族会 虹の会	役員会	
3	5	21	精神障害者家族会 虹の会	総会	
4	5	30	認知症の人と家族の会たんぽぽの会	交流会	
5	6	15	精神障害者家族会 虹の会	定例会(SST研修会)	
6	6	21	精神障害者家族会 虹の会	県家連研修会	
7	7	31	精神障害者家族会 虹の会	ファミリーカフェ	
8	8	17	精神障害者家族会 虹の会	定例会	
9	9	22	精神障害者家族会 虹の会	ファミリーカフェ	
10	9	28	認知症の人と家族の会たんぽぽの会	交流会	西土佐支所
11	10	26	精神障害者家族会 虹の会	定例会	
12	11	7	精神障害者家族会 虹の会	県家連研修会	
13	11	28	認知症の人と家族の会たんぽぽの会	学習会・交流会	
14	12	5	精神障害者家族会 虹の会	みんなネット研修会	高知市
15	12	21	精神障害者家族会 虹の会	定例会	
16	1	30	認知症の人と家族の会たんぽぽの会	交流会	

実施目標		3 介護予防・生活支援事業との連携(第2期計画から追加)	
年度	計 画	実 施 状 況	評価平均 基準 1:要努力 2:普通 3:良好
28	地域ニーズと地域資源の把握 高齢者等の人材発掘と活動機会の創出	第1層推進会議 3回 介護予防リーダー養成講座 2回 いきいき生活応援隊員養成講座 1回	未実施
29	↓	第1層推進会議 3回 支えあい研修会 2回 養成講座 3回 第2層推進会議関係 3回 ※2月末時点	
30	第2層推進会議の充実 高齢者等の人材発掘と活動機会の創出	-	-
31	上記に加え、資源開発	-	-
取組み状況		多様な主体が参画する第1層推進会議の取組みとして、地域資源情報の見える化に向けて「四万十市高齢者在宅生活ガイドブックVer.2」を発行し既存の地域資源の情報周知に努めた。また、地区健康福祉委員会の介護予防活動の充実・強化を目的とした「介護予防リーダー養成講座」や多様な訪問型サービスの開発に向けた「いきいき生活応援隊員養成講座」の2つの養成講座を昨年引き続き開催した。	
課 題		養成した人材や元気な高齢者が活動する場の確保が不十分となっており、来年度から取組みを予定している第2層推進会議の活動を通して推進していきたい。	

- 備 考 -

▼いきいき生活応援隊員養成講座



▼支えあいの地域づくり研修会



▼介護予防リーダー養成講座



平成29年度実績

番号	月	日	名 称	内 容	備 考
1	4	13	いきいき生活応援隊員事業所説明会	活動に向けた事業所説明	12名
2	5	8	まちなかサロン開所イベント	わなげ交流大会	58名
3	5	28	第1回推進会議	社会資源の情報共有	18名
4	5	31	えっころネット介護技術セミナー開講	住民向け介護技術セミナー	11名
5	6	15	推進会議(食部会)	食の確保に関する意見交換他	10名
6	8	10	第2回推進会議	地域課題の共有	16名
7	9	7	支えあいの地域づくり研修会(西土佐)	事業説明・ガイドブック配布他	40名
8	9	8	支えあいの地域づくり研修会(中村)	事業説明・ガイドブック配布他	150名
9	11	21	介護予防リーダー養成講座(西土佐)	介護予防に役立つレク他	19名
10	12	4	介護予防リーダー養成講座(中村)	介護予防に役立つレク他	60名
11	12	5	第3回推進会議	各団体の活動報告	17名
12	12	14	いきいき生活応援隊員養成講座	超高齢社会と介護保険制度他	更新17名・新規10名
13	12	15	いきいき生活応援隊員養成講座	掃除・調理の演習他	修了9名
14	12	17	第2層推進会議準備会(西土佐)	さわやか福祉財団長瀬氏学習会	16名・関係者10名
15	12	17	第2層推進会議準備会(中村)	さわやか福祉財団長瀬氏学習会	23名・関係者12名
16	1	18	いきいき生活応援隊員事業所説明会	活動に向けた事業所説明	13名
17	1	21	第2層推進会議準備会(2回目)	さわやか福祉財団長瀬氏	16名・関係者5名
18	2	25	第2層推進会議準備会(3回目)	さわやか福祉財団長瀬氏	14名・関係者8名

実施目標		4 ボランティアセンターの充実(第1期計画から継続)	
年度	計 画	実 施 状 況	評価平均 基準 1:要努力 2:普通 3:良好
28	ボランティアの養成と活動機会の提供	コーディネート 延16カ所 手話奉仕員養成講座基礎課程 全24回 傾聴ボランティア施設訪問・勉強会 6回	未実施
29	↓	活動実績 延88件 ボランティアの資質向上 11回(研修等) ※2月末時点	
30	上記に加え、ボランティア登録の見直し	-	-
31	↓	-	-
取組み状況	施設や学校等からの依頼を受けボランティアを派遣するコーディネートは例年通り実施した。また、傾聴ボランティアの個人宅への派遣など新規の活動もいくつか実施することができた。西土佐地域では、「やすらぎの会」が中心となり施設や学校などで多様な活動を展開している。また、平成29年度に開所した「まちなかサロン」では、ボランティアの協力を得て運営している。		
課 題	ボランティア登録の見直しなど基礎となるものの整理をしていく必要がある。近年の介護・福祉分野における慢性的な人材不足は深刻な状況となっており、地域課題を少しでも軽減できるよう、ニーズに即したボランティアの活動機会の創出に取り組んで行く必要がある。		

- 備 考 -

▼ふるさと会の施設訪問



▼朗読の会・虹広報等読み方講習会



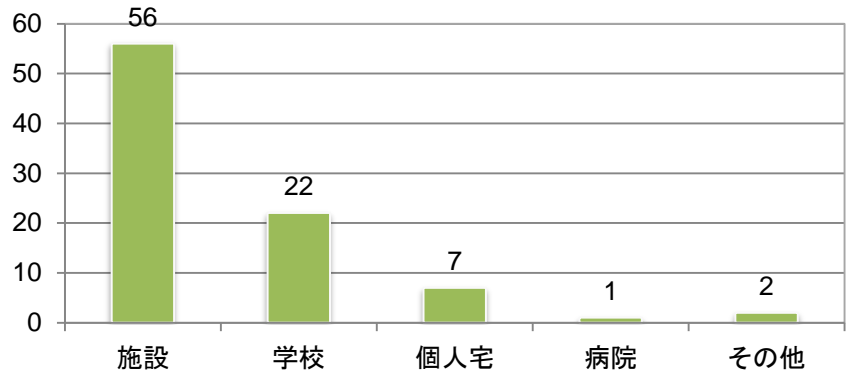
▼1/30高知新聞朝刊



平成29年度実績

《ボランティアの活動場所の内訳》

番号	形態	件数
1	施設	56件
2	学校	22件
3	個人宅	7件
4	病院	1件
5	その他	2件
計(延べ)		88件



実施状況の詳細は以下の表のとおり

番号	月	日	団体名	内容	備考
1	4	6	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
2	4	14	やすらぎの会	西土佐小学校読み聞かせ	6名
3	4	21	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
4	4	26	やすらぎの会	西土佐中学校読み聞かせ	3名
5	4	27	やすらぎの会	特養かわせみ喫茶たぬき	2名
6	5	8	やすらぎの会	デイサービスお話相手	1名
7	5	12	やすらぎの会	西土佐小学校読み聞かせ	5名
8	5	15	長唄弥寿菊会	施設訪問	7名
9	5	16	おどろう会	施設訪問	7名
10	5	22	やすらぎの会	特養かわせみ喫茶たぬき	2名
11	5	23	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
12	5	24	やすらぎの会	西土佐中学校読み聞かせ	3名
13	5	26	やすらぎの会	西土佐小学校読み聞かせ	6名
14	5	30	傾聴ボランティア	施設訪問	6名
15	6	7	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
16	6	9	やすらぎの会	西土佐小学校読み聞かせ	4名
17	6	14	やすらぎの会	特養かわせみ繕い物	2名
18	6	20	中村手話サークルわかあゆ	中筋小学校手話学習	7名
19	6	21	やすらぎの会	西土佐中学校読み聞かせ	3名
20	6	22	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
21	6	24	子育て応援団「ほっとポケット」	託児サービス	3名
22	6	26	やすらぎの会	特養かわせみ喫茶たぬき	2名
23	7	7	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
24	7	14	子育て応援団「ほっとポケット」	託児サービス	2名

番号	月	日	団体名	内容	備考
25	7	14	やすらぎの会	西土佐小学校読み聞かせ	5名
26	7	19	やすらぎの会	西土佐中学校読み聞かせ	3名
27	7	24	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
28	7	26	傾聴ボランティア	施設訪問	8名
29	7	28	やすらぎの会、個人	特養かわせみ納涼祭	17名
30	8	2~4	中村高校3年生	ナツボラ渡川病院訪問	1名
31	8	8	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
32	8	10	3B体操教室	特養かわせみ3B体操	6名
33	8	21	西土佐分校ラポール	施設訪問	5名
34	8	23	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
35	8	31	傾聴ボランティア	施設との意見交換会	1名
36	9	3	やすらぎの会	ケアハウスにしとさカラオケ	3名
37	9	4	やすらぎの会	西土佐小学校読み聞かせ	5名
38	9	7	友近890	一条の里にて歌&書道ライブ	1名
39	9	7	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
40	9	13	傾聴ボランティア	個人宅訪問	1名
41	9	15	碧の会	施設訪問	7名
42	9	20	やすらぎの会	西土佐中学校読み聞かせ	3名
43	9	22	碧の会	施設訪問	9名
44	9	22	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
45	9	22	やすらぎの会	特養かわせみ繕い物	2名
46	9	23	やすらぎの会	ケアハウスにしとさカラオケ	2名
47	9	27	傾聴ボランティア	施設訪問	7名
48	9	28	やすらぎの会	特養かわせみ喫茶たぬき	2名
49	10	2	やすらぎの会	デイサービスお話相手	1名
50	10	4	傾聴ボランティア	個人宅訪問	1名
51	10	8	やすらぎの会	ケアハウスにしとさカラオケ	1名
52	10	13	手話奉仕員	スキルアップ研修	9名
53	10	17	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
54	10	19	やすらぎの会	特養かわせみ繕い物	2名
55	10	22	やすらぎの会	ケアハウスにしとさカラオケ	1名
56	10	24	長唄弥寿菊会	施設訪問	6名
57	10	25	やすらぎの会	西土佐中学校読み聞かせ	3名
58	10	27	手話奉仕員	スキルアップ研修	8名

番号	月	日	団体名	内容	備考
59	10	27	やすらぎの会	西土佐小学校読み聞かせ	5名
60	10	28	朗読の会・虹	広報等の読み方講習会	11名
61	10	30	やすらぎの会	特養かわせみ喫茶たぬき	2名
62	11	1	傾聴ボランティア	個人宅訪問	1名
63	11	2	傾聴ボランティア	個人宅訪問	1名
64	11	8	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
65	11	10	手話奉仕員	スキルアップ研修	9名
66	11	10	やすらぎの会	西土佐小学校読み聞かせ	3名
67	11	12	やすらぎの会	ケアハウスにしとさカラオケ	2名
68	11	15	ふるさと会	施設訪問	4名
69	11	15	傾聴ボランティア	施設訪問	4名
70	11	16	やすらぎの会	特養かわせみ繕い物	2名
71	11	22	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
72	11	22	やすらぎの会	西土佐中学校読み聞かせ	3名
73	11	24	やすらぎの会	西土佐小学校読み聞かせ	3名
74	11	24	手話奉仕員	スキルアップ研修	6名
75	11	25	やすらぎの会	ケアハウスにしとさカラオケ	2名
76	12	5	傾聴ボランティア	個人宅訪問	1名
77	12	6	傾聴ボランティア	個人宅訪問	1名
78	12	8	手話奉仕員	スキルアップ研修	3名
79	12	8	やすらぎの会	デイサービスお話相手	1名
80	12	9	やすらぎの会	ケアハウスにしとさカラオケ	2名
81	12	9	中村手話サークルわかあゆ	具同小学校手話学習	6名
82	12	19	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
83	12	20	やすらぎの会	西土佐中学校読み聞かせ	3名
84	12	22	手話奉仕員	スキルアップ研修	5名
85	12	23	長唄弥寿菊会	施設訪問	6名
86	12	24	やすらぎの会	ケアハウスにしとさカラオケ	1名
87	1	9	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名
88	1	12	手話奉仕員	スキルアップ研修	5名
89	1	13	やすらぎの会	ケアハウスにしとさカラオケ	2名
90	1	17	やすらぎの会	西土佐中学校読み聞かせ	3名
91	1	23	ふるさと会	施設訪問	5名
92	1	24	やすらぎの会	デイサービスお話相手	2名

番号	月	日	団体名	内容	備考
93	1	25	傾聴ボランティア	勉強会	10名
94	1	26	手話奉仕員	スキルアップ研修	5名
95	1	28	やすらぎの会	ケアハウスにしとさカラオケ	3名
96	1	29	中村手話サークルわかあゆ	中村南小学校手話学習	3名
97	2	16	傾聴ボランティア	個人宅訪問	1名
98	2	21	やすらぎの会	西土佐中学校読み聞かせ	2名
99	2	23	手話奉仕員	スキルアップ研修	5名